

渋滞の問題がある鶴川街道は、都による個別買収ですすめることになり、三沢川は分水トンネルが整備され、水があふれることはなくなりました。

担当者は「これからのまちづくりは住民との協力が不可欠」と

説明をおこなってくれた稲城市の担当者は「体力の大きくない自治体は地元の方の応援がないとどんな事業もできません。また事業が長期化すれば、人件費がかさみ、資料も新たなものに更新しなければならないなど、相当なボリュームでお金がかかります。下手をすると、お金をかけたけれども、事業が結局できなかった、ということもありえます。今回の（中止の）判断は、冷静な状況判断によるものです。これからのまちづくりは住民との協力が不可欠です。」と語ってくれました。



百村地区を視察する鈴木たくや市議



稲城市役所からのぞむ市街地

羽村駅西口区画整理事業は見直しし、住民の声を生かしたまちづくり計画に変更すべき

日本共産党羽村市議団

稲城市への視察では、説明してくれた担当者の「まちづくりは住民との協力が不可欠」「（中止は）冷静な状況判断によるもの」との発言が印象的でした。

羽村市がすすめる羽村駅西口区画整理事業は、355億円もの巨費を投入して、42.3%の広大な既成市街地をそっくり作りかえる計画です。過半数の住民から見直し・中止の声があげられ、ねばり強い反対運動が続けられています。

住民への負担、巨額の経費、環境への負荷など様々な問題があるこの計画について、日本共産党羽村市議団は計画の見直しを求めてきました。

羽村市は稲城市の経験から真摯に学び、「なにがなんでも区画整理」という態度を改め、住民の声を生かした計画に見直しをはかるべきです。

無料法律相談のお知らせ

12月9日(火)午後1時30分からです。
事前に予約が必要です。お気軽にご連絡ください。

- ・ 中原まさゆき 554 - 1163
- ・ 市川英子 554 - 1140
- ・ 鈴木たくや 080 - 1058 - 9450